

# 510章 「夢と幻」

2016年6月13日、月曜日  
永遠なる創造主に聖なる者!

## 「夢と幻」

ジャニン・ソトロン 著書  
印刷発行

ロイ・レムキ

安息日と、イエスの信仰とを含んだ  
神の戒めを守る  
ヒラデルヒヤ教会  
「残りの民」

イエスの信仰：

預言の御霊

永遠なる創造主に聖なる者!

## 「夢と幻」 第一

(1) 封印は天で解かれ、ラッパは鳴り響き、鳴りとどろく雷鳴は聞かれました。

イエスは私に言われました。

「第六の天使がラッパを吹いたとき

人類の死を葬る

鐘の音は

鳴り響きました。」

天使たちは泣きました。

(2) 一頭の緑色(青色)の馬 17 は、その乗り手と一緒にイエスの前に連れて来られました。それは地球に向かって出発しました。

(3) ヨハネの黙示録、8章 10、11節の中で、このように言っています。

---

17 「そこで見ていると、見よ、青白い馬が出て来た。そして、それに乗っている者の名は「死」と言い、それに黄泉が従っていた。彼らには、(何があったとしても)地の四分の一を支配する権威、及び、(大きな)剣と、飢饉と、(罪のために)死と、地の獣ら(野蛮で獣のように残忍な人間)とによって人を殺す権威とが、与えられた。」黙示録 6:8。注意書き：源本の中では青白いと言う代わりに緑と書かれています。

「第三の御使いが、ラッパを吹きならした。すると、たいまつのように燃えている大きな星が、空から落ちてきた。そしてそれは川の三分の一とその水源との上に落ちた。この星の名は：

## 「苦よもぎ」

と言い、水の三分の一が「苦よもぎ」のように苦くなった。水が苦くなったので、そのために多くの人が死んだ。」

## 幻

(4) 私は、地球の方を見つめておられるイエスを見ました。幻の中で私が見たことに従ってみると、主は背が高く気高く威厳ある、眩く輝く白い外套に包まれておられました。

(5) 主は、あたかも主の目が地球の方に引かれていく何かがあるかのように、地球の方を見ておられました。

(6) それから、主は私の方に来られました。一つの小さい白い書物は私の前に置かれました。そして主は私に言われました。

「ジャニン、小さい預言の書物を

あなたの手に取りなさい。

ヒラデルヒヤ教会「残りの民」のあなたの兄弟姉妹たち、そしてこの働きのための責任ある人、ロイ・レムキ兄弟と一緒にいるために、

オレゴン

に向かって出発しなさい。

小さい白い書物をあなたの手に取りなさい。」

(7) 主(イエス)はこのことを私に明かされました：

ヨーロッパは

滅ぼされるでしょう。

(8) そして主は私に言われました。

「あなたは出発し、そして

フランス

から去ろうとしています。」

(9) イエスは、もはやヨーロッパは存在しなくなるというこの黙示を私に宣言されました：

ヨーロッパは

絶滅されるでしょう。

(10) この星はヨハネの黙示録 8章 11節の中でこのように名づけられました。

苦よもぎ

## これはフランスの首都 パリ市

の上に降下するでしょう。

(11)この星はパリ市の頭上に降下するでしょう。

(12)主は、主の言葉によって私に啓示されました：

—イタリア

—ベルギー

—ドイツ

—スペイン

ヨーロッパのすべての諸国は、同じように苦よもぎによって滅ぼされるでしょう。

(13)彼らは免れることはないでしょう。

。

(14)最も厳しく打たれるのは、

—イタリア

—フランス

—ドイツ

—ベルギー

—スイスでしょう。

(15)神に見捨てられて **18** 彼らの時間が短かいという事実、人間の注意を引くために、

その苦よもぎは、

---

**18** 「神に見捨てられた」という言葉は、腐敗、墮落、猛悪、あるいは罪の中に失われたために神の法規による非難と拒絶の下にある非原則な人という意味。「罪は律法の違反である。」ヨハネ第一 3:4。「**罪の支払う報酬は死である。**」ローマ 6:23。「しかしわたしに罪を犯す者は自分自身の魂に害を与える。わたしを憎む者すべては死を愛する。」箴言 8:36。「罪人で百度悪をなして、尚長生きする者があるけれども、神をかしこみ、み前に恐れを抱く者には幸福があることを、わたしは知っている。」伝道の書 8:12。

「すべて彼における者は、罪を犯さない。すべて罪を犯す者は彼を見たこともなく、知ったこともない者である。子たちよ、誰にも惑わされてはならない。彼が義人であると同様に、義を行う者は義人である。**罪を犯す者は、悪魔から出た者である。**悪魔は初めから罪を犯しているからである。神の子が現れたのは、悪魔のわざを滅ぼしてしまうためである。すべて神から生まれた者は、罪を犯さない。神の種が、その人の内にとどまっているからである。また、その人は神から生まれた者であるから、罪を犯すことができない。」ヨハネ第一 3:6-9。

「すべて神から生まれた者は罪を犯さないことを、私たちは知っている。神から生まれたかたが彼を守

っていて下さるので、悪しき者が手を触れることはない。」ヨハネ第一 5:18。

すでに地球にわずかに触れました。イエスはこのことを私に明かされました。

## 「夢と幻」第二

(1) ヨーロッパは

黒焦げにされるでしょう。

(2)イエスは私に言われました。

「ヨーロッパは

広島

となるでしょう!」

ヨーロッパは

苦よもぎ

の衝撃の下で、絶滅されるでしょう。

(3)イエスは私に言われました。

「神は、ユダヤ人たちの

大虐殺

を覚えておられました

。

ヒトラーによる

**1943年—1944年の毒ガス虐殺」**

(4)神は、彼らの子供たちと一緒にご自身のユダヤ人の兄弟姉妹たちの大虐殺を覚えておられました。

主はこの民の痛みを見られました。彼らは、

ヒトラーの

殉教者たちでした。

(5)彼(イエス)は、

ヨーロッパ

における彼らの痛みとご自身のユダヤ人兄弟たちの死を覚えておられました。

(6)こう言うわけで、イエスは毒ガス虐殺について私に話されて、そして私に言われました。

「主の怒りは

ヨーロッパ

を焼き尽くすでしょう。」

(7)ヨーロッパの審判は近づいています。

(8)「誰も逃れられないでしょう!

」と、主は言われました。

(9)主は彼らの血の

報復をなさるでしょう。

正義は彼らに

報いを与えられるでしょう。

### 「夢と幻」第三

#### 幻

(1)

(2) いっぱいに伸ばされた翼を持った他のふたりの天使たちによって連れ添っていた私の使命者によって、私は苦よもぎを見るために連れて行かれました。彼らは言いました。「わたしたちは見ようとしています。わたしたちはこの

#### 苦よもぎ

をジャニンに見せましょう。」

(3) 私たちはその場所に到着しました。私は少なくとも1トンあるいはほとんど2トンあるかと思われる巨大な石(複数の石)を見ました。それは煙を発していました。

(4) この石から出ていたその煙は私たちが煙と一緒にいた所を一杯に満たしていました。そしてこれらの天使たちはこの場所から私を出そうとして急いでいました。それはここでは

#### 隕石

と呼ばれる巨大にして大きな岩石でした。

(5) この岩石はオリオン星座の回廊から出て来ました。それはここに置かれました。それは石(複数の)の部分で、神によって置かれた石(複数の)の一つです。この回廊で形成されるものです。私がこの回廊に入ろうとしていたとき、それは一つの記念碑の像に入ろうとしていたかのようにでした。

(6) この

#### 苦よもぎ

はオリオン星座の回廊の中に置かれました。定められたその時に、それはこれらの石の間から出て来るでしょう。そしてやって来て、

#### 地球

を撃つでしょう。

その名前は

#### 苦よもぎ

です。

(7) 私は、この石から出て来ていたこの煙、毒ガス、放射能の中にいたのです。私の頭脳は沸騰(煮え立つ、あるいは泡立つ)していました。私は、毒ガスのために苦しんでいました。

(8) 私の使命者は私に言いました。「膝をかがめなさい。」そして三人の天使たちは一緒になって彼らの大きな翼で、私の頭上で彼らの翼をばたばたと動かしていました。私は、私の呼吸を再び取り戻すことができました。彼らは私が大丈夫かを案じました。そして私は微笑みました。

(9) 私がこの隕石を見たとき、私の使命者は私に言いました。「来なさい。わたしに従って来なさい。それは危険です。あなたは突然にして死ぬでしょう

。」彼らはこの場所から私を出させようとして急ぎました。

(10) もはやもう何もなく、

#### 砂漠

だけがあったのを私は見ました!

私はもはやその石 19 を見ませんでした。

### 「夢と幻」第四

#### 幻

19 ダニエル2章はこの「人手によらずに切り出された石」について語っています。「あなたが見ておられたとき、一つの石が人手によらずに切り出されて、その像(バビロンの偽りの宗教、日曜日 {タンムズ礼拝} クリスマス {タンムズ、サンタクロース礼拝} イースター {イシュター礼拝} そしてハロウィーン {サタン礼拝})の鉄と粘土との足(ローマ・カトリック日曜日法規の適用、クリスマス、イースター、そしてハロウィーン)を撃ち、これを砕きました。こうして・・・みな共に砕けて、夏の内場の粃殻のようになり、風に吹き払われて、あとかたもなくなりました。ところがその像(偶像礼拝)を撃った石は、大きな山となって全地に満ちました。」ダニエル2:34,35。「それらの王たちの世に、天の神は一つの国を立てられます。これはいつまでも滅びることがなく、その主権は他の民にわたされず、かえってこれらのもろもろの国を打ち破って滅ぼすでしょう。そしてこの国は立って永遠に至るのです。」ダニエル2:44.

しかし、この「人手によらずに切り出された石」がバビロン(日曜日、クリスマス、イースター、そしてハロウィーン)偶像礼拝を滅ぼす前に、神の天使たちは「言った。倒れた。大いなるバビロンは倒れた。その不品行(日曜偶像礼拝、クリスマス、イースター、そしてハロウィーン)に対する激しい怒りのぶどう酒を、あらゆる国民に飲ませた者。」黙示録14:8.と警告します。そして、一人の使命者である天使はこの「倒れた」(日曜日、クリスマス、イースター、そしてハロウィーン)の諸教会から出て来るように神の民に警告する。「倒れた、大いなるバビロンは倒れた。そして、それは悪魔の住む所、あらゆる汚れた霊の巢窟、また、あらゆる汚れた憎むべき鳥の巢窟となった。すべての国民は、彼女の姦淫(偶像礼拝)に対する激しい怒りのぶどう酒を飲み、地の王たちは彼女と姦淫を行い、地上の商人たちは、彼女の(日曜日、クリスマス、イースター、そしてハロウィーン)貿易の力(極度のぜいたく)によって富を得たからである。」黙示録18:2,3. 神の民はこれらのバビロン/クリスチャン諸教会宗教を去るようにと命じられた。

「わたしの民よ。彼女から離れ去って、その罪にあずからないようにし、その災害に巻き込まれないようにせよ。」黙示録 18:4.

(1) 数ヶ月がすでに去って行きました。私は幻に入りました。

(2) **広島**

のような眺望を私は見ました。すべての物が滅ぼされ、一掃され、きれいに空にされ、荒廃した眺望となりました。葉もない、夜の陰りのようにたった数本のまっ黒焦げになった木が残されただけでした。

(3) 私はこの砂漠に、この悲しい場所において、幻の中にいました。全く家屋はなく、そしてそれは夜でした。その月の明るさは薄暗いのでした。私は恐れしました。そして私は、自分がどこにいるのか知りませんでした。

(4) 一人(1)の人は私に加わり、そして私に言いました。「あなたは、あなたがどこにいるのか知っていますか？」

(5) すると、私は他に二人(2)の人たちがその人に加わったのを見ました。彼らは、隕石が撃った以前に私と一緒にいた三人(3)の天使たちであったことに、私は気づきました。

(6) 彼らは私に言いました。「ここあなたが居る所、ここは**首都パリ**です。はい、**首都パリ**、

それはフランスの**首都、パリ市**でした。」

それは砂上の楼閣のように、消失され、飛ぶ散ってしまい、絶滅され、一掃されてしまったのです!

(7) 私には見えないのですが、おびただしい量の放射能を受けて私が死なないように、彼らはそこから私を出させるために急いでいました。

(8) 彼らは言いました。「私たちはここから出ましょう。ジャン、私たちは出発しましょう!」

(9) そして、私は幻を失いました。

「夢と幻」第五

**幻**

(1) 薄暗い光りの眺望となり、悲しく、焦げて黒くされてしまった

**首都パリ**

神の民とは誰であるか?

**ヒラデルヒヤ教会** 黙示録 3:10.

「**残のり民**」 黙示録 12:17.

第七日目安息日を含めた「**神の戒め**」 「

そして**イエスの信仰**」とを守る  
**「聖徒たち」**

黙示録 14:12.

がもう二度と見えなくなった後、私は幻に入りました。そして私は自分が

**スイス**にある**ジュネーブ**

に居ることを発見しました。

(2) 私は、もう二度と生命がないことを、この幻の中で見ました。幾つかの街頭に数人の住民が居ました。首都は砂漠となりました。

(3) すべての自家用車、汽車、飛行機、すべてはもう何も作動しなくなりました。電子器機のすべてがもう作動しなくなったほどに放射能の量の水準が高くなったのです。

(4) 高品質の携帯電話が街頭に高く積まれていました。自殺する者たちが多く、苦悩する親たちが居たことを私は聞きました。

(5) 幾人かの人々は毒殺されました。彼らの子供たちは死んでいきました。放射能とガスは人々が家庭に居ながら死んでいく原因となりました。

(6) 私はジュネーブの湖を見ました。湖の色は変色され、そして苦くなりました。水の表面に上がって来ている魚の群れ、私の目の前で死んで行く魚の群れを私は見ました。それは悲しい光景でした。

(7) 自分たちを移動させることのできる者たちはボートを使用していました。人々はその困難を乗り越えようと試みていました。しかし、彼らは放射能によって襲撃されました。もはや、もう生命はありませんでした。その都市は死に絶えました。もう水がありませんでした。

(8) 私は目をあげました。私は上を見上げました。私は大きな建物を見ました。そしてその上にこのように書かれてありました。

**スイス銀行**

(9) その上の方から、窓を通して、袋、袋、そしてお金の入った袋が捨てられ、飛び散っていました。これらのお札は蝶々のように至る所に飛んでいました。そして地面に低く降下していました。

(10) それらがドルのお札の束であり、また 100 ユーロのお札であったことを私は見ました。

(11) 人々は悩み苦しんでいました。彼らはどこへ行くべなのか、もはや知りませんでした。彼らはこれらのお札の上を歩いていました。彼らはその金銭の価値のすべてを失ってしまいました。

(12) 私は聞きました。「もう水はありませんでした。水は苦く、酸性で、毒です。それは変色しました。水は青色から緑色になりました。」

(13) 私は靈感に感じました。「政治の終わり、偉大な者たちの誇りの終わり! この生活の楽しみの終わり!」彼らは、自分たちの運命に自分たち自身を放棄

したように思われました。

(14) **神は勝利されました。**

ジャン・ソトロン